

つるつる予報の開発理由を聞いてみました!



つるつる予報を開発した
一般社団法人北海道開発技術センター
永田 泰浩さん【博士(工学)】



どうして「つるつる予報」を開発したのですか？

雪道で転倒して救急車で搬送された方のデータを整理したのが始まりです。データをみると、搬送者が1日で30人の日もあれば、翌日は0人になることもありました。そこで、搬送された時間帯や天気などを調べてみました。すると、朝の時間帯に最も搬送者が多いことや、天気や温度の条件によって搬送者が増えることがわかりました。つるつる予報を見てもらって、朝、皆さんが転ばず元気に学校に着けたらいいなと思っています。

実は、全国から問合せが来るんです。

全国はもちろん、こないだはフィンランドの方からも質問をもらいました。つるつる予報を出しているのは世界でも北海道だけだと思います。もし、北海道外からの転校生が来たら、つるつる予報って知ってる?って聞いてみてください。



つるつる予報ホームページ

※つるつる予報は、毎年12月上旬～3月中旬まで公開しています。

すべらない歩き方

永田さんは、「すべらない歩き方」や「すべりにくい靴」の紹介もしています。

小さな歩幅で歩く

滑りやすい氷の道では、歩幅を小さくしてペンギンの様に歩きましょう。ものすごく滑りやすいときは、つまずかないように気をつけながら、すり足で歩くのもいいと思います。



足の裏全体をつけて歩く

氷ではなく、雪の道を歩くときは、重心を前側に置いて、足の裏全体を雪に真っ直ぐおろすように歩くと滑りづらいです。



歩き方も大切ですが、何よりも大事なのは2つの準備です！

1つ目は道具の準備です。冬になったら冬靴を履いていますか？夏のスニーカーではダメですよ。それから手袋、帽子を忘れないでください。もしも転んだ時、下に上がった石があったらどうなりますか？自分自身を守る準備がとても大切です。

2つ目は時間の準備です。急いでいるときや、走っているときは、誰でも道路の状況を見るのをサボってしまいます。時間に余裕をもって行動してくださいね。

